

# 特定健診・保健指導の実施状況(平成 22 年度速報値)について

国民健康保険中央会

## 概要

今回の報告は、国保中央会において全国の市町村国保より収集したアンケート及び特定健診等データ管理システムより収集したデータを集計した速報値となるため、国が発表している速報値とは数値が異なる場合がありますことをご承知置きください。

《平成 22 年度実績（速報値）の及び平成 20 年度からの推移の状況》

※（ ）内は対前年度速報値比

○ 健診対象者数 22,419,244 人 (101,332 人減)

○ 健診受診者数 7,169,761 人 (102,047 人増)

・対象者が減少している半面受診者は約 10 万人増加しており、受診勧奨等の取組みの成果によるものと考えられる。

○ 受診率 32.0% (0.6 ポイント増)

・全体では 0.6%の微増であるが、都道府県別に見ると大幅に受診率を伸ばしている県がある。(和歌山県、高知県、長崎県等)

・21 年度から 22 年度にかけて受診率が増加している県が 35 県、減少している県が 12 県となっている。

○ 内臓脂肪症候群該当者・予備群該当者の割合

該当者 16.3% (0.1 ポイント増)

予備群 10.8% (0.4 ポイント減)

・性・年齢階級別のいずれの階級もわずかではあるが減少傾向にある。

○ 健診受診者（評価対象者）に占める保健指導対象者

953,535 人（35,062 人減） 13.2%（0.7 ポイント減）

- ・保健指導対象者は3カ年減少傾向にある。

○ 服薬の状況

高血圧 2,266,464 人（8,204 人増） 31.6%（0.8 ポイント増）

脂質 1,423,565 人（117,105 人増） 19.8%（1.3 ポイント増）

糖尿 426,829 人（18,088 人増） 5.9%（0.1 ポイント増）

- ・3カ年の推移を見るといずれも増加傾向にある。

○ リスクの保有状況

腹囲もしくはBMI のリスクの有無に関わらず、複数リスクを持つ者は減少傾向にある。

○ 保険者規模別状況

規模の大きい保険者ほど受診率が低い傾向にあるが、年度ごとの伸び幅については、保険者規模に関係なく微増傾向にある。

○ 参酌標準達成状況

健診受診率 65%以上 22 保険者

保健指導終了率 45%以上 344 保険者

（両方達成している保険者 8 保険者）

参酌標準(特定健診受診率:65%、特定保健指導終了率45%)をクリアしている保険者

都道府県名	保険者名	特定健診			特定保健指導		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	終了者数	終了率
北海道	幌加内町	404	280	69.31%	44	22	50.00%
北海道	上富良野町	2,229	1,631	73.17%	175	143	81.71%
北海道	和寒町	1,066	779	73.08%	114	93	81.58%
北海道	中川町	409	268	65.53%	35	24	68.57%
福島県	昭和村	444	312	70.27%	35	16	45.71%
新潟県	粟島浦村	82	75	91.46%	19	10	52.63%
長野県	麻績村	596	391	65.60%	46	26	56.52%
長野県	喬木村	1,096	730	66.61%	81	58	71.60%